

特集

看護教育をとらえる新たな発想



コンセプト・ ベースド・ カリキュラム

日米の看護基礎教育には、制度上の大きな違いがありますが、医療の高度化などによるカリキュラムの過密化、教育内容の臨床との乖離という問題は共通しています。米国では、そうした課題を解決するべく、臨床での看護師の思考を学ぶための理論が開発・実践されています。小誌で何度もご紹介した臨床判断モデルもそうした動きの1つに数えられます。

また、より臨床的に、という動きは、カリキュラムの組み立て自体にも影響を及ぼしています。最先端の教育理論をもとに、看護をコンセプトという単位で再構成し、それにもとづいてカリキュラムを全面的に見直す、コンセプト・ベースド・カリキュラムが取り入れられ始めています。

本特集では、変革期にある米国での基礎教育の現状を概観するとともに、カリキュラムへの活用から、紙上事例、統合分野での実習の準備など、日本での活用方法を模索していきます。

大きく揺れる看護基礎教育に、刺激、ヒントとなれば幸いです。